

おおがわらまち 議会だより

第148号

平成30年8月1日

QRコードから
議会の情報を
ご覧ください



大河原町議会



金ヶ瀬カトリック保育園
七夕の願いごと

中央公民館リニューアル	②③
新学校給食センター	④⑤
議案審議(6月会議)	④⑤
町政への提言	⑥
常任委員会所管事務調査	⑰
議決責任の明確化	⑱
その後どうなったあの提言	⑲

中央公民館
この秋

「にぎわい交流施設」としてリニューアル

中央公民館+にぎわい プラザ=にぎわい交流施設



分割されていた和室は1つになり、研修室も新しくなります



事務室は大きく、茶室は会議室に変わります。



観光ルームと高いルーム



旧会議室が開放的なまちづくりルームに変わります。



視聴覚室



正面玄関：開放感にあふれ、蔵王連峰が一望できます



プロ仕様の厨房を配備した食の開発室(2階)

この秋、大河原町中央公民館は全面改装工事を完了し、施設の名称を変更。「にぎわい交流施設」としてスタートします。

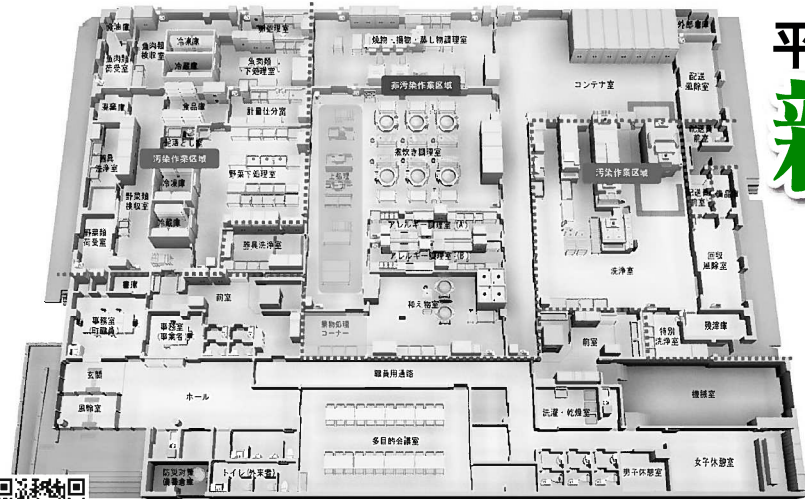
「にぎわい交流施設」は、これまでの公民館の文化活動としての拠点に、産業振興拠点の「にぎわいプラザ」が加わり、複合施設として生まれ変わります。

にぎわい交流施設として、観光ルームと高いルーム(1階南側)、食の開発室と交流室(2階北側)が新たに設置されます。

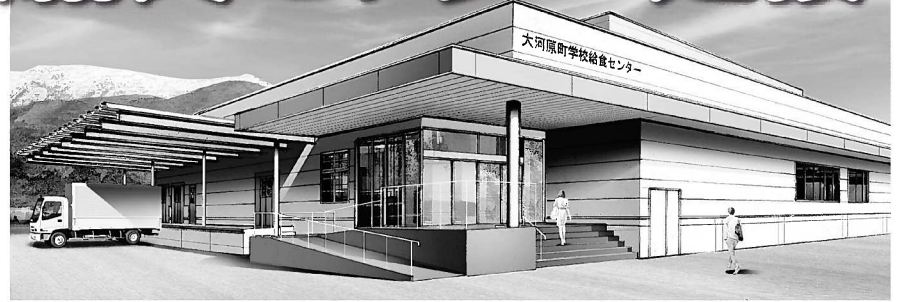
また、新たにエレベーターが設置され、屋上の雨漏り防止工事が行われ、各階のトイレ及び空調施設が新しくなるなど快適な施設になります。

さらに、事務室、和室、会議室などは仕様を変更のうえ全面的に模様替えとなるほか、使用時間帯を9時～13時、13時～17時、17時～22時となり、使い勝手がよくなります。

なお、使用料は若干高くなりますが、冷暖房費が下がり、総額では負担増にならないよう配慮されました。



平成31年 8月下旬運営開始へ向けて 新学 校給食センター建設



老朽化が進んだ大河原町学校給食センターを整備するに当たり民間事業者に設計・施工・調理業務・配送業務・維持管理業務を一括して委ねるDBO方式を採用し、公募型プロポーザルを行いました。

その結果、次の通り選定しました。

代表企業及び運営企業
(株)メフオス

設計企業・工事監理企業
(株)相輪技術研究所

東北支社

施工企業
(株)八重樫工務店

厨房調理器等調達企業
(株)中西製作所 東北支社

事業費総額

28億9235万8800円

内訳
運営業務及び維持管理業務契約
17億241万4800円

議案審議

〔6月会議〕
今会議では、同意1件、諮問1件、報告8件、議案7件について審議が行われた。

▼**固定資産評価員の選任**
(町税務課長) 瀬戸 恵美氏
大河原町固定資産評価員の選任について満場一致で同意された。

▼**人権擁護委員候補者の推薦**
高橋 佑子氏
人権擁護委員の候補者に賛成多数で推薦された。

▼**専決処分の報告**
公用車物損事故の和解
大河原町町税条例及び大河原町町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

大河原町都市計画税条例の一部を改正する条例
地方税法等の一部を改正する法律及び関係法令等公布され一部が施行されたことに伴い、必要な部分について改正された。

▼**大河原町国民健康保険条例の一部を改正する条例**
国民健康保険制度はこれまで市町村が個別に運営していたが、平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等国保運営に中心的な役割を担い制度を安定していくことになった。これにより「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険等の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、必要な部分について改正された。

設計・工事監理委託料
4298万4000円

工事請負金額
8億8360万円

物品購入費
2億6136万円

運営

平成31年8月下旬
平成46年7月

現給食センター解体工事
(別事業)

解体・撤去
平成31年10月
平成32年3月

※学校運営との関係により期間の変更あり

▼**一般会計主な補正予算収入**
社会資本整備総合交付金 1650万円
自治総合センターコミュニケーション助成金 250万円
道路橋梁整備事業債 1220万円

支出
第4次L・G・W・A・N接続業務委託料 180万円
コミュニケーション補助金 250万円
運転免許自主返納支援報償費 30万円
桜保育所整備基本計画策定業務委託料 500万円
幼児用運動遊具 54万円
施設名サイン設置工事 48万6千円
金ヶ瀬東線ほか道路側溝改良工事 3050万円
教育振興慈愛基金積立 3000万円
金ヶ瀬中学校音楽室床等改修工事 50万円

▼**大河原町教育振興慈愛基金条例の制定**
青少年の健全育成及び教育の振興などに寄与することを目的とし、大場吉樹氏からの寄付金をもつて設置された。

こちらのQRコードから、委員会活動の様子や広報に掲載している写真の詳細をご覧ください。

活動報告としての議会だよりではなく、この広報を通じて、皆様に現地へ足を運んでいただけるような広報制作に努めます。



一般質問

町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すもの。今回10人の議員が行った。

万波 孝子 P.7

- 「介護保険優先原則」を問う
- 自己水源を守るべき
- デマンドタクシーの増便を

高橋 芳男 P.8

- 先端設備等導入計画を進めよ
- 高次脳機能障害者への支援を
- がん患者のウィッグ購入に助成を
- イエローチョーク作戦について(掲載なし)

伊勢 敏 P.9

- 排ガス中の放射能を測定せよ
- 第6次長総「基本方針」に再生可能エネルギーを掲げよ

丸山 勝利 P.10

- 農地の基盤整備事業を早急に

柘 和也 P.11

- 南小・金小にも見守り隊を

庄司 充 P.12

- 「子ども議会」の復活を望む

須藤 慎 P.13

- 開花に合わせて桜まつり開催を
- 桜保育所建替スケジュールは

大沼 忠弘 P.14

- 白石川で公募型雑木伐採を
- 「絵本と学びのへや」利用拡大を
- 観光ボランティアガイドを育成せよ
- 公共向けLINE@の活用を(掲載なし)

岡崎 隆 P.15

- 未来を見据えた減災対策を

高橋 豊 P.16

- 省エネに配慮した建築物を
- 未来を見据えた都市計画を



問「介護保険優先原則」を問う

答 原則が優先、適切に対応する



万波 孝子

特定疾病により障害が重くなった人が65歳を迎えた場合、障害者総合支援法第7条介護保険優先原則を理由に障害福祉サービスから介護福祉サービスへの移行が求められる。現在、障害福祉サービスの利用料は非課税世帯は原則無料。介護保険に移行すると一割負担が発生する。更に障害と介護制度では理念や認定基準などさまざまな点で異なっている。

町長 該当者27名の内、移行は1名。要介護認定の申請を行い審査の結果、重度に認定され障害サービスと同様のサービスを受けることができたので問題は起きていない。

問 介護サービスに移行しない場合はどうなるのか。

町長 障害福祉サービスに相当する介護保険サービスがある場合は、基本的に介護保険サービスを優先するが、移行後も同様のサービスが可能か否かを適切に判断して対応する。

自己水源を守るべき

県は広域水道、工業用水道、流域下水道の事業を一本化するみやぎ型管理運営方式の導入を目指している。検討会には内閣府、厚労省等の幹部や大企業の三菱商事、丸紅等が参加。基幹インフラを民間に委ねる方針に説明不足等各市町から懸念する声が出されている。

問 みやぎ型管理運営方式が検討されている理由は。

町長 施設老朽化による今後30年の更新費用は2100億円が見込まれ、経費削減や投資の抑制等が求められる。



大河原町金ヶ瀬揚排水場

デマンドタクシーの増便を

問 1時間間隔に変わったが8時30分、3時30分の導入を。さらに、手押しカート利用者もトラック利用で乗車できないか

町長 実態を調査して検討する。

一般質問



いせ さとし
伊勢 敏

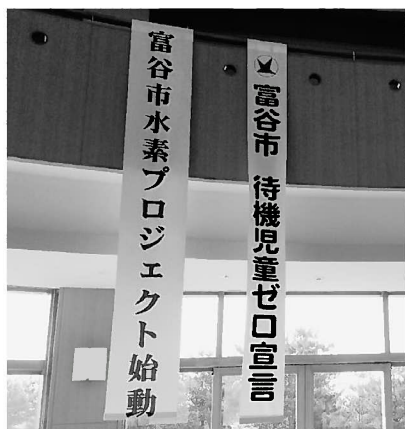
問 排ガス中の放射能を測定せよ

答 汚染廃の焼却方針は変えない

問 仙南地域広域行政事務組合（以下「仙南広域」という）は3月の試験焼却中に基準値を超える放射線量を計測したにも関わらず、ばいじん等運転状況から「異常なし」と判断、住民への約束を反故にし焼却を続行。ばいじんと放射能を同等に扱い、危険物を扱っているという認識と危機管理体制が欠如している。焼却により放射能が煙突から排出されると、呼吸を通じ肺に入った放射能は肺の内部にとどまり生涯、周辺の肺細胞が放射線を浴び、発がん率が上昇する。仙南広域は排ガス自体

町長 測定方法について仙南広域に情報提供はする。焼却に関する私の態度は変わらない。

一般質問

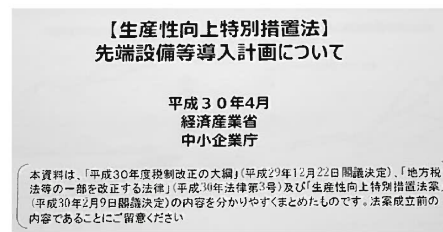


富谷市役所1階ホール

第6次長総「基本方針」に再生可能エネルギーを掲げよ
問 環境政策の後退は、ブランド政策を進めるうえで憂慮される。国内外で、環境を重視した政策、再生可能エネルギー及び水素社会への取り組みが広がってきた。南三陸町は「環境まちづくり」のもと、地域ブランド創出に取り組んでいる。富谷市は「長期総合計画」のもと、水素プ
答 これらの取り組みを参考にした新たな取り組みとして、現在策定中の第6次長期総合計画の「基本計画」の中に再生可能エネルギーを明記せよ。
町長 地球温暖化対策の推進は町のブランド化につながると思われる。

問 先端設備等導入計画を進めよ

答 準備を進めている



本資料は、「平成30年度税制改正の大綱」（平成29年12月22日閣議決定）、「地方税法等の一部を改正する法律」（平成30年法律第3号）及び「生産性向上特別措置法案」（平成30年2月9日閣議決定）の内容を分かりやすくまとめたものです。法案成立前の内容であることにご留意ください

問 中小企業の所有している設備は老朽化が進み、生産性向上の足かせになっている。先端設備等導入計画とは、中小企

町長 「先端設備等導入計画」については現在、東北経済産業局長への協議書の提出等、計画策定に向けた準備を進めており、今後中小企業や小規模事業者への支援を推進したい。

業や小規模事業者等が、設備投資を通じて労働生産性向上を図るための計画である。市区町村が国から「導入促進基本計画」の同意を受けている場合に認定を受けて、税制支援や金融支援を受けられる。この制度を活用してはどうか。



たかはし なおき
高橋 芳男

一般質問

高次脳機能障害者への支援を
問 「高次脳機能障害」とは、病気やケガの後遺症で記憶障害、注意障害等の認知障害が生じる状態で「見えない障害」とも言われている。高次脳機能障害をはじめとする精神障害者が自立した生活を送るための住居支援に、町内に236件ある空き家を活用してはどうか。
町長 現在、住宅系支援サービスは、共同生活援助として21人が利用されており、サービスの維持、向上に努めている。また、空き家を利用した形も含めサービス事業所に働きかけていく。

がん患者のウィッグ購入に助成を
問 脱毛はがんの副作用として2番目に多い。がん発症後の社会復帰に対しても負担が大きく、医療用ウィッグは2〜20万円もするため、購入をためらう方も多い。山形県は最大1万円の公費助成を行っている。当町も医療用ウィッグに公費助成を行うべき。
町長 平成30年度から宮城県でも医療用ウィッグ購入助成事業を開始した。今後、本町についても、既に助成を行っている他市町の利用状況を把握し、来年度の助成制度導入を考える。



榎 ますゆき 和也

問 南小・金小にも見守り隊を

答 町として支援をして行く

問 通学路対策推進会議での30年度における対策箇所の進捗状況はどの程度見込んでいるのか。

答 全国的に登下校中の事故が連続して発生しており、当町も含め各自治体で「通学路交通安全プログラム」を策定し取り組んでいる。今年の5月には、滋賀県甲賀市で小学校1年女子児童が側溝に落ち流されて死亡する事故。新潟市では小学2年女子児童が下校途中に連れ去られ殺害、そして遺棄されるという痛ましい事件が発生。本町でも不審者の情報メールが多くなっている今日、児童生徒の安全確保について問う。

一般質問

町長 防犯協会、隊友会、民生児童委員の方による見守り活動が行われている。その体制を充実する。

問 朝の登校時は同じ時間帯であるから児童も集団登校できるが、下校時は時間が異なり一人や二人で下校する児童が見られ危険と思う。大小には「見守り隊」があるが、南小・金小にも「見守り隊」が必要と思うがどうか。

町長 統一した仕様にするのは難しい。

問 道の2路線の側溝蓋の設置、新寺地区の県道改良事業の早期完了も要望。

町長 金ヶ瀬小学区の町道2路線の側溝蓋の設置、新寺地区の県道改良事業の早期完了も要望。

問 金小西側の黒沢用水路のガードパイプが以前から危険なので高くしネット設置を提案していたが、

町長 南小、金小にも見守り隊の様な組織は必要と思う。ジャンパーについては喫緊に対応する。

問 ジャンパー等必要と思うが具体的に体制の充実と町支援とは何か。



大河原小学校

見守り隊のいない金ヶ瀬小学校

問 金ヶ瀬中東線と東線（通学路）、土手下線との交差点付近に注意喚起の方策が必要と思うが、

町長 具体的な対策を講じないまま現在に至っているが、優先順位を設けて対応する。

問 農地の基盤整備事業を早急に

答 説明会を開催し合意形成を図る

問 イノシシによる被害を聞くことが以前より少なくなりました。被害やイノシシが減ったからではない。畑を作らなくなったからだ。やがて畑が荒れ山になり、イノシシのすみかが増えた。また、畑の荒廃によって田との境が無くなり近年、田の被害も多くなっている。処分場や加工場を早急に整備すべきではないか。

町長 電気柵の補助やくりり罠による捕獲駆除に取り組んでいる。地区の皆さまの協力を得ながら、草刈り等の環境整備に取り組み。また、広域

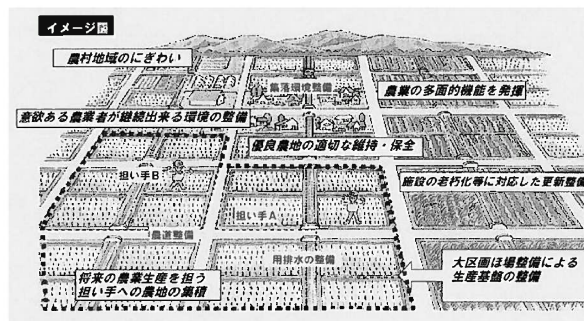
一般質問

問 農産物のブランド化が一向に進まない。課題は何か。

町長 後継者不足や、農産物の生産量の確保などでなかなか進んでいない。中央公民館に複合されるにぎわいルームの食の開発室などを活用したり、地域や企業等の協力を得ながら、ブランド化を進めていきたい。

農政課長 ほ場整備事業（基盤整備事業）を契機としてほ場の大型区画化並びに暗渠排水による汎用化を図り、担い手農家への農地集積等を推進し、農業の維持・存続を図りたい。

基盤整備事業は早くも10年以上かかるため、各地区に Outreach、説明会を開催し、合意形成を図り進める。



ほ場整備事業のイメージ図



す どう 須藤 しん 慎

問 開花に合わせ桜まつり開催を

答 実行委員会で協議していく

町長 外国人観光客が確実に年々増えている。外国人観光客に対する案内や情報伝達に苦慮してお

町長 23万人（前年度より11000人減）。外国人50000人（前年度より15000人増）。

町長 今年の桜まつりの観光客数は、

今年のさくらは3月31日に開花、4月5日には満開。観測史上2番目の開花の早さであった。柴田町と大河原町が共同で国の補助金（東北観光復興対策交付金）を活用してインバウンド等に取り組み、3年目となった。

一般質問

町長 桜まつり実行委員会で協議をすすめます。

町長 桜まつり実行委員会で協議をすすめます。

町長 柴田町では桜まつり期間中多くのイベントが開催されている。大河原町でもせめて土・日くらいは様々な団体に働きかけて、もっとイベントを開催すべき。

町長 柴田町は常設の観光施設と会場があるため駐車場の受け入れが可能。大河原町は河川敷の使用占有等様々な関係機関への許可手続きがある。

町長 柴田町は4月1日から桜まつりを早めて開催。大河原町は4月4日から開催。この3日間の違いは何か。

町長 柴田町は4月1日から桜まつりを早めて開催。大河原町は4月4日から開催。この3日間の違いは何か。

町長 現段階では南桜公園を候補地とし、公園廃止や新し公園の設置などの都市計画変更手続きについて協議している状況。

町長 31年度に実施設計。32年度に建設工事。33年3、4月に開所予定。

桜保育所建替えのスケジュールは

イベント	お祭りや行事も予定が異なります。ご確認下さい。	お祭りや行事も予定が異なります。ご確認下さい。	お祭りや行事も予定が異なります。ご確認下さい。
5/1	9:00-10:00 したのまつり準備会	5/13-14 100周年記念式典	5/13-14 100周年記念式典
6/1	9:30-11:00 21世紀のまちづくり	6/13-14 100周年記念式典	6/13-14 100周年記念式典
7/1	9:30-11:00 100周年記念式典	7/13-14 100周年記念式典	7/13-14 100周年記念式典
8/1	11:00-12:30 桜まつり準備会	8/13-14 100周年記念式典	8/13-14 100周年記念式典
9/1	11:00-12:30 桜まつり準備会	9/13-14 100周年記念式典	9/13-14 100周年記念式典
10/1	11:00-12:30 桜まつり準備会	10/13-14 100周年記念式典	10/13-14 100周年記念式典
11/1	11:00-12:30 桜まつり準備会	11/13-14 100周年記念式典	11/13-14 100周年記念式典
12/1	11:00-12:30 桜まつり準備会	12/13-14 100周年記念式典	12/13-14 100周年記念式典

たくさんのイベントが行われている柴田町

町長 規模拡大の必要性は認識している。町単独

予算に限らず補助金等の財源も含めて桜まつり実行委員会とともに対応をしていきたい。

問 「子ども議会」の復活を臨む

答 「中学生未来会議」を重視



しろう し 庄司 みちる 充

平成29年12月の議会で町内小学校の生徒たちが多数議案を傍聴にみえら



若人が、我が町の未来を考えると。

町内小学校の生徒たちが多数議案を傍聴にみえられた。30分以内の順番制「クラスずつの見学で主に一般質問を傍聴し町の動き町の大切さを直に体験し刺激を受けたように思う。これが立場を異なり子どもたちが私共議員の位置から自分たちの町を考えた町に対しての意

一般質問

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を

町長 児童たちは議事堂の広さ立派さに驚いた。時計で議員の質問時間を計っている事等に興味を示した。議員が町を良くするために熱心に会議を



おかざき 隆
岡崎

問 未来を見据えた減災対策を

答 地域と協力して一緒に考える

本来「減災」とは災害時に発生し得る被害を最小限にする取り組みであるが、自然災害に限らず生活の中にも多くの災いが潜んでいる。震災後の社会情勢を見ると、特に子どもを取り巻く環境が脅かされており、地域行政が手を差し伸べる必要性が大きくなっていくと考えるので以下質問する。

町長 3本柱の一つに「命と安全を守る」を掲げ、定住促進、子育て支援等に取り組み。

町長 制度化はしたが進んでいない。

町長 命と安全を守るのであればモニタリングポストの異常や反対の声に耳を傾け、仙南クリンセンターで始まっている放射性汚染稲わらの試験焼却は即刻中止すべき。

町長 態度を変えるつもりはない。続ける。

一般質問

町長 対等・協力の関係と認識する。

町長 対等・協力の関係と認識する。

町長 地方と中央、国県、市町村に主従関係が存在しているか。

町長 繰り返しになるが態度を変えるつもりはない。



問 白石川で公募型雑木伐採を

答 管理する県に是非要望する



繁茂するさくら大橋上流の雑木

国交省河川事務所による公募型雑木伐採例が多数見られる。白石川でもこうした手法で整備し

町長 未着手部分にこの手法を採れないか白石川を管理する県に是非要望する。

町長 河川として流れが阻害されていない。要望は必要ないものと考えている。今後の状況を確認しながら随時要望する。

町長 保料地区右岸河川敷は年々拡大して現在の面積になった。撤去すべきか、活用すべきか。

町長 流れが阻害されるのであれば撤去すべきだが、現在は確保されている。蔵王を背景にした桜の眺望スポットとして現状のまま活用。

町長 活用するならば、せめて整地すべきでは。

一般質問

町長 基本的には案の通り考えている。平成32年度までに県でどこまで整備してもらえるか。町が整備を行う際に活用できる補助メニューを模索中。仮に補助がなかった場合は変更もあり得る。

町長 白石川右岸河川敷における土地利用検討(案)が議会に示された。概ね案通りに計画が進むのか。

「絵本と学びのへや」利用拡大を

町長 リニューアル以降の利用状況は。

町長 生涯学習課長 リニューアル前より利用が増えていく。アンケートでも好意的な回答が多い。

町長 利用者向けに新たな企画等の考えは。

町長 生涯学習課長 6月と11

観光ボランティアガイドを育成せよ

町長 ボランティアガイドの考え方は。

町長 桜の季節に訪れるお客様に一目千本桜を始

町長 めとした本町の魅力をお伝えするのが第一。おもてなしの心を大切にした接遇も町のイメージとなる。

委員会調査 町への提言



- 総務産業常任委員会**
- 観光ライブカメラの設置**
- 白石川堤（二目千本橋）ブランド化事業の一環として、リアルタイムで観光情報が発信できるようライブカメラを設置した。
 - 設置場所 栄町住宅屋上
 - 工事期間 平成30年2月13日から3月26日まで
 - 業務代金 756万円
- ライブカメラは桜まつり会場方向を撮影。観光物産協会のホームページで閲覧できる。**
- 桜樹保護における桜の剪定状況**
- 白石川右岸側の桜樹の枯れ枝や、通行支障木・危険枝等の剪定切除処理を実施した。
 - 場所 白石川右岸側、毛萱街道踏切付近から葎神塚付近の町境までの区間
 - 実施日 平成30年1月23日から3月19日まで
 - 業務代金 810万円



5月頃の梅園地

- 梅の生産における現状と課題**
- 昭和7年旧金ヶ瀬村時代に食糧増産のため山を開墾し、助成金の代わり梅の苗木を植樹し、堤地区の農家60戸が共同作業を始めた。
 - 現在は、6haに3千本余りの白加賀、南高、花香実、石川といった品種が植えられている。
 - 「梅まつり」には、1千人を超える来場者が訪門。
- 対策**
- 高齢化や後継者不足に

- 文教厚生常任委員会**
- 金ヶ瀬カトリック保育園の施設整備と運営状況**
- 平成30年4月1日に業務開始。
 - 入所定員 60名
 - 建築面積 802・10㎡
 - これまでの1・7倍の広さになり、各保育室はゆったりとしている。
 - 建物には木造なので室内は暖かく、ガスや灯油は使わない施設になっている。
 - 裸足保育を取り入れている。（保育士も）
 - 防犯カメラを設置し、セコムに委託している。
 - 入所児童数71名。定員の弾力化で定員の+18%まで受け入れている。



金ヶ瀬カトリック保育園と新設された児童クラブ

- 金ヶ瀬カトリック児童クラブの運営状況**
- 保育園内に児童クラブを新設。平成30年4月1日に業務開始。
 - 入所定員 45名
 - 建築面積 104・36㎡
 - 設置主体 社会福祉法人カトリック児童福祉会
 - 委託料 865万2000円
 - 児童クラブ支援員4名
- 対策**
- 保育園と、隣接する介護施設の帰宅時間帯が重なることから、事故防止対策が要望として出された。

問 省エネに配慮した建築物を

答 公共施設の省エネ化を推進



たかはし 豊

問 本町の既存公共建築物および新築予定の建築物に対する省エネ法の対応は、取り組みと今後の対応は。

町長 本町の既存建築物については太陽光発電設備が段階的に義務づけられる。

答 東日本大震災以降、我が国のエネルギー需給は、一層逼迫しており省エネ対策の抜本強化が必要不可欠なことから建築物省エネ法が平成28年4月1日施行された。今後、一定規模以上の建築物の新築・増改築について、その用途や規模等に応じた省エネ基準に適合することが段階的に義務づけられる。

一般質問

備やLED化によって省エネを推進している。今年度中に役場庁舎のすべての照明や上谷児童館や大河原児童センターのLED化を予定する。

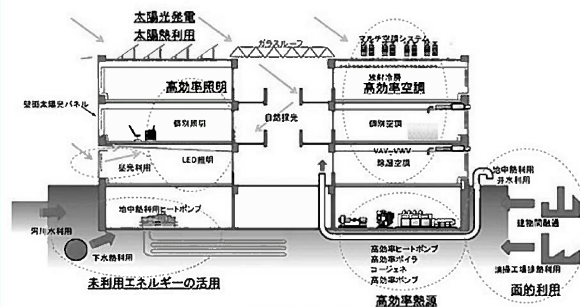
問 「ZEHネット・ゼロ・エネルギー住宅」や「ZEBネット・ゼロ・エネルギービル」は今後、品質の高い建築物をストックし循環利用するうえ必要である。本町の対応は。

町長 本町においては平成26年度より、環境先進都市の実現と地球温暖化の防止及び災害に強い次世代型住宅の普及を図るため、「次世代型住宅」の助成事業を行ってきた。今後建築する公共建築物についても省エネ化を目指し、地球温暖化の防止に貢献していく。

将来を見据えた都市計画を

問 地域ブランドの向上の為に美しい景観づくりが必要であると考え、街並みを整えることは地域の財産である。今後のビジョンを踏まえた都市計画の必要があると考えがどうか。

町長 平成29年度から3年間の事業で、本町の都市計画の見直しを進めている。県の仙南広域景観計画策定後に、本町の景観計画を策定していく。その中で景観づくり等についても検討していく。



ZEBネット・ゼロ・エネルギービルのイメージ図

追跡レポート

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について調査・追跡しました。

桜保育所建て替え整備を



建て替えられる桜保育所

危険箇所の安全対策を急げ



金ヶ瀬小学校裏の柵が低い水路

提言

築40年を過ぎ老朽化が目立つ桜保育所の更新、改修を行うべき。

議員の提言
(一般質問)
平成29年3月
平成29年12月
平成30年3月

平成30年度
基本計画策定

追跡結果

平成30年度6月補正予算で桜保育所整備基本計画策定業務委託料として500万円を計上し可決。31年度には実施設計、32年度には建設工事を行い年度内完了を目指す。今後具体的な協議に入る。

提言

通学路や学校周辺の危険箇所の安全対策を急ぐべき。交通量の多い交差点に標識や、水路に柵などの対策を講じるべき。

議員の提言
(一般質問)
平成25年6月
平成26年6月
平成27年12月
平成30年6月

平成30年
6月現在

追跡結果

警察や黒沢尻用水路土地改良区の関係機関へ改善要望をしているが、要望止まりで進捗がみられない。標識やグリーンベルトの設置等、水路については背の高い柵の設置による対策等が急務。

《平成30年第2回定例会(6月会議)議案等審議結果》

件名	議決 年月日	議決 結果	議員別表決結果一覧													
			高橋 豊	伊勢 敏	佐久間 克明	須藤 慎	大沼 忠弘	岡崎 芳男	丸山 勝利	堀江 一男	栢 和也	万波 孝子	秋山 昇	山崎 剛	佐藤 貴久	
固定資産評価委員の選任について	6/13	同意	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	議
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	6/13	適任	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	議
大河原町学校給食センター整備運営配送事業に係る事業契約の締結について	6/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町教育振興愛基金条例の制定について	6/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町にぎわい交流施設設置条例の制定について	6/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町にぎわいプラザ条例の制定について	6/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町公民館条例の一部改正について	6/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成30年度大河原町一般会計補正予算(第1号)	6/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成30年度大河原町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	6/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

《表決の区分》 投：投票 ○：賛成 ×：反対 退：退席 除：除斥 欠：欠席 議：議長なので表決に加わらず

議決責任の明確化

政務活動費はこのように使われました。

政務活動費は、議員の調査研究経費の一部として、議員1人当たり月額5,000円を交付しています。

《政務活動費支出の内訳》 調査研究費(視察研修費用)/広報広聴費(新聞等の発行費用)
《調査視察研修の主な内容》

- 政道会/スクラム・おおがわら → 千葉県松戸市「選択制給食の導入経緯・運営状況」
埼玉県熊谷市「実情河川を利用した多目的広場の利用」
- フロンティアおおがわら → 北海道札幌市・鹿追町・釧路市・別海町「北海道が目指す 水素社会」
- スクラム・おおがわら/公明会 → 京都府南山城村「人口減少対策の現状と課題」
「産業振興(道の駅)の現状と課題」
「今後の自治体間交流を目指して(姉妹都市・友好都市に)」
- 滋賀県 湖南市「JK課プロジェクト」
「地域まちづくり協議会・地域おこし協力隊に」
- 新国会/蔽会 → 佐賀県 武雄市「ICTを活用した一般質問の手法等、先進事例」
「アウトソーシングの取組みに」
「ICTを活用した教育の実情」

平成29年度政務活動費支出状況

会派名	議員名	支出総額	収入		返還額
			町からの交付額	内訳 会派負担額	
スクラム・おおがわら	山崎 剛 佐藤 貴久 庄司 充 大沼 忠弘 高橋 豊	329,239	275,000	54,239	0
新 政 会	堀江 一男 栢 和也 須藤 慎	236,343	165,000	71,343	0
政 道 会	丸山 勝利 佐久間克明	111,234	110,000	1,234	0
巖 会	岡崎 隆 秋山 昇	157,562	110,000	47,562	0
日本共産党	万波 孝子	58,995	55,000	3,995	0
公 明 会	高橋 芳男	68,176	55,000	13,176	0
フロンティアおおがわら	伊勢 敏	92,600	55,000	37,600	0
合 計		1,054,149	825,000	229,149	0

[単位:円]

こんな町に住みたいな



金ヶ瀬中学校
柴崎 敦史



金ヶ瀬中学校
佐藤 夢依音

大河原町では色々な世代の人が一緒に過ごしています。だからこそ、僕は「どの年代でも快適に過ごすことができる町」に住みたいと思います。

例えば、小さい子のために公園や保育所があったり、高齢者のために老人ホームがあったり、障がい者のためのバリアフリー設備が充実していたり、公共機関やショッピングセンターが十分に集まっている町です。

人は一人では生きていきません。色々な年代の人がお互いを尊重し、安心して過ごすことのできる町に住みたいです。

どのような町が、住みたいと思える町であると言えるだろう。そう考えると、私は、雰囲気が明るく、犯罪のない町が良い町だと思います。なので、私の住みたい町は「安全で楽しく暮らせる町」です。そのような町を実現するには、地域の人の交流を大切にしていかなくてはなりません。

今の私にできることは限られていますが、地域の人に会ったらあいさつをすることでも、交流は深まると思います。ささいなことからはじめ、安心安全で、楽しく暮らせる町にしていきたいです。

9月議会のお知らせ

招集日 9月5日(水)・再開日 9月11日(火)

お問い合わせは議会事務局まで ☎53-2800

議会を傍聴しませんか

街かど ワンショット



第12回おおがわら梅まつり

(6月24日午前9時から午後1時)

平成19年より毎年開催されている「おおがわら梅まつり」は、J.Aみやぎ仙南白石倉庫さくら営業所を会場に、梅の生産・出荷を行っている「金ヶ瀬梅組合」を中心に、地場産業の振興と観光農業の創造を目的に、梅量り売りや一升マス盛り放題、梅干しの種吹き飛ばし大会が行われ、今年も多くのご来場者で賑わいました。また、堤梅団地においては、「梅狩り体験」が行われました。

ところで、本町は平安時代に「梅が枝莊」と和歌に詠われるなど、歴史ある梅の里として知られ、現在梅の木は町木に指定されています。堤地区では、戦前に堤梅団地が作られ、敷地には3000本あまりの梅が植えられており、3月中旬から4月上旬には美しい花が見頃を迎えます。ぜひ足をお運びください。

編集後記

毎号、表紙の写真を広報委員会で撮影しています。子どもたちの姿をテーマに撮影していますが、自然な表情を撮るのが案外難しいのです。カメラを意識して表情がぎこちなかったり、カメラ目線になってしまったりと。数枚の候補からベストショットの一枚を選ぶ作業をしています。

今や携帯、スマホにカメラが付いて国民総カメラマン時代。腕に覚えのある町民カメラマンに委嘱して写真を提供してもらう広報誌作りをしている自治体もあります。町民と協働の紙面作りも面白いかもしれません。

(大沼 忠弘)

編集発行責任者

議長 佐藤 貴久

議会広報常任委員

委員長 佐久間 克明

副委員長 須藤 慎

委員 万波 孝子

委員 大沼 忠弘

委員 伊勢 敏

委員 高橋 豊